

## 令和8年度 第1回燕市食物アレルギー対応委員会 会議録（要旨）

日 時：令和8年7月8日（水） 15時30分から 16時40分まで

場 所：燕市役所 会議室 301

出席委員：松野委員、伊東委員、小山委員（委員長）、伊藤委員、落合委員、庄司委員、  
水澤委員、高橋委員

事務局：教育長、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、こども政策部長、こども未来課長、ほか職員9人

議 題：（1）小・中学校における食物アレルギー対応の現状について  
（2）児童クラブにおける食物アレルギー対応の現状について  
（3）保育園・こども園における食物アレルギー対応の現状について  
（4）その他

【以下、会議録（要旨）】 ※個人の診療、対応についての記録は省略します。

### 開 会

教育長挨拶

委員長挨拶

### 議 題

（1）小・中学校における食物アレルギー対応の現状について

《事務局》

① 各小・中学校における食物アレルギー対応給食の児童生徒数

令和4年度から令和8年度までのアレルギー対応給食の児童生徒数の報告をした。

② エピペン®処方者の人数

令和4年度から令和8年度までのエピペン®を処方されている児童生徒数の報告及び学校別人数内訳を報告した。

③ 学年別食物アレルギー対応給食児童生徒数

学年別、アレルギー別の児童生徒数を報告した。

④ 食物アレルギー事例の報告

令和8年1月1日から令和8年5月31日までの間に、食物アレルギーに関連したヒヤリハット事例が1件、誤食事例が1件あったことを報告した。

⑤ 食物アレルギー対応に係る職員研修

市教育委員会が、燕市内の小中学校教職員を対象として、9月9日に研修会を実施する予定であることを説明した。

⑥ 『みんなで考えるアレルギー座談会』

（食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者との情報交換会）

8月5日に開催予定であり、小中学生の保護者及び年長児の保護者に周知することを説明した。

(2) 児童クラブにおける食物アレルギー対応の現状について

《事務局》

① 児童クラブにおける食物アレルギー対応の児童数

令和4年度から令和8年度までの、アレルギー対応をしている児童数の報告をした。

② エピペン®処方者の人数

令和4年度から令和8年度までの、エピペン®を処方されている児童数の報告をした。

③ 食物アレルギーによる誤食等の発生について

令和7年12月に、ヒヤリハット事例が1件あったことを報告した。

④ 食物アレルギー事故を防止するための対応

職員向けの食物アレルギー研修会を7月14日に開催することを報告した。また、エピペン®処方者が在籍する施設においては、エピペン®の使用方法について職場内研修を実施したこと、すべての職員を対象として心肺蘇生法やAED使用方法についての救命救急講習会を複数日程で実施したことを報告した。

(3) 保育園・こども園における食物アレルギー対応の現状について

《事務局》

① 各園の食物アレルギー対応給食の園児数

令和4年度から令和8年度までの、アレルギー対応をしている園児数の報告をした。

② エピペン®処方者の人数

令和4年度から令和8年度までの、エピペン®を処方されている園児数の報告をした。

③ クラス別食物アレルギー対応給食園児数

クラス別、アレルゲン別の対応園児数を報告した。

④ 食物アレルギーに係る誤食等の発生について

令和8年1月1日から令和8年5月31日までの間に、食物アレルギーに関する誤食が1件、ヒヤリハット事例が1件あったことを報告した。

⑤ 食物アレルギー対応に係る職員研修

9月17日に開催予定であることを報告した。

○松野委員

血液検査の値だけで食物アレルギーと診断されている例が多い。負荷試験を実施して、問題がなければ家でもくり返し食べてもらうという形をとらないと明確な診断にはならない。専門医を受診し、負荷試験をするよう話をしてもらえるとありがたい。

○伊東委員

負荷試験の代わりに「自宅で食べてみて」という医師がいるが、具体的な量を示さずに自宅で食べさせるのは危険であり、量を指定するのが大事である。

○松野委員

アナフィラキシー用の点鼻薬ネフィー®が発売された。エピペン®と違い注射ではないので、恐怖が少ないという利点がある。

しかし、現時点で処方するのは時期尚早と捉えており、もう少しデータが揃ってから順次切り替えることで考えている。

その時は講習会を開催し、一般の方にも理解してもらう必要がある。

○伊東委員

ネフィー®のサンプルがあるが、ボタンを押すのに力が必要で、園児や小学校低学年の児童では自己投与が難しいため、学校であれば先生が投与する必要があると思う。エピペン®は筋肉注射なので、効かないということはないのだろうが、ネフィー®は点鼻のため、効きが悪いこともあるかと思う。

松野委員が言われたとおり、まだ少し早いと思う。

○落合委員

教職員には、研修会のタイミングで、ネフィー®について情報提供してもらえるとよい。

児童クラブの誤配については、緊張感が非常に低いと言わざるを得ず、気を付けていただきたい。

閉 会